

Ⅱ 地区重点施策と努力点

1 ブラッシュアップ熊毛（熊毛の教育グランドデザイン）

《県の基本目標》

夢や希望を実現し ともに未来を創る鹿児島の人づくり
～誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会を目指して～

地区の教育方針

熊毛のポテンシャルを生かした心を動かす教育の推進
～熊毛の子は熊毛で育てる～

ブラッシュアップ熊毛

基本的な考え方

歴史・伝統・文化
を未来へつなぐ
(郷土を誇りに)

「つなぐー寄り添うーそろえる」の3つの視点に基づく
「心を動かす」関わりを通して、「やればできる」という心を育む
～学校・家庭・地域社会の協働による働き掛け～

内なる力に気付く
自他のよさを生かす
(人権感覚)

《指導の重点》

豊かな心の育成

確かな学力の育成

健やかな体の育成

「チーム学校」による
信頼関係を重視した
心を動かす生徒指導

「こだわりの視点」の実践と
学力定着のプランニングによる
「確かな学力」の定着・向上

心と体を一体として捉えた
体力・運動能力向上と
健康の保持増進

1 「チーム学校」による生徒指導体制の確立

- 全職員での共通理解、共通実践事項の確認（役割分担と行動連携）
- 個別の支援計画の作成と支援
- 教職員の生徒指導力の向上
- 小中連携及び専門スタッフ、関係機関との連携

2 いじめ、不登校、問題行動等への対応（未然防止・早期発見・早期解決）

- 「魅力ある学校づくり」のPDCA（居場所づくり・絆づくりの推進）
- 「学校たのしい」と等の定期的な調査（年5回以上）による実態把握
- 相談しやすい体制づくり（SOSの出し方に関する教育の推進）
- 「新規不登校数0」の取組
- 「いじめ防止基本方針」に基づく積極的認知及び組織的対応
- 情報モラル教育の充実（携帯電話等のフィルタリング設定率95%以上）

3 心の教育の充実（信頼関係を基盤に児童生徒のよさを認め、励ます）

- 「考え、議論する道徳」の実践
- 自他のよさに気付く人権教育の充実（人権尊重の意識の高揚）
- 夢や希望の実現に向けたキャリア教育の推進

4 特別支援教育の充実

- 一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮及び個性を伸ばす教育の推進
- 早期からの教育相談の実施と適切な就学指導の推進（移行支援シートの活用）

1 「見通す-学び合う-振り返る」探究型授業を追究する「こだわりの視点」の共通実践

- 解決方法やゴール（結果）を見通す場、協働的な学び合いの場、自己の学びを言語化する振り返りの場を充実させた完結する授業の実践
- 授業参観表の自校化と活用
- 評価・見届け可能で具体的な「こだわりの視点」の設定と評価・改善

2 学力定着のプランニングと確実な実践・見届け

- 年間を通じた定着のプランニング
- 熊毛メソッドの実践
- 過去問やWeb問題等の演習問題の計画的活用と「できるまで」を意識した組織的な指導及び確実な見届け（「やりきる」指導の徹底）
- 指導の個別化及び学習の個性化による「個に応じた指導」の充実
- 指導と評価の一体化により、組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントの充実

3 学習の基盤となる資質・能力の育成

- 語彙力や読解力、計算力などの基礎的な学力の育成
- 情報活用能力の育成（プログラミング教育の充実）
- 読書活動の充実

4 組織力を高める校内研修の推進

- 諸検査を活用した実態把握と課題分析及び改善策の策定
- 児童生徒の学びの姿を見取り、組織的に授業改善を図る校内研修（授業研究）の充実
- 小・中連携による学業指導の推進及び小・中連携、小・小連携による校内研修（授業研究）の推進
- ICTの効果的な活用場面及び活用方法の共通理解

1 体力・運動能力の向上

- 体育科・保健体育科授業の充実
- 「運動大好き“かごしまっ子”育成推進プラン」の実践
- 「チャレンジかごしま」「一校一運動」への積極的な取組（「チャレンジかごしま」の全学級申告）
- 自校の体力等の実態把握と課題解決に向けた継続的な取組

2 健康教育の充実

- う歯治療率の向上（80%以上）と予防の重視（虫歯のない生徒〔中1〕の割合60%以上）
- 学校保健委員会の充実（学校医等の参加率向上90%以上）
- 性に関する指導、飲酒・喫煙及び薬物乱用防止教育、がん教育の推進、現代的健康課題への対応

3 食に関する指導の充実

- 年間指導計画の作成及び職員研修（食物アレルギー等）の実施

4 安心・安全な学校づくりの推進

- 学校安全計画の改善・充実
- 危険予測・危険回避能力の育成
- 緊急時の的確かつ迅速な対応（避難訓練・不審者対応訓練の実施、危機管理マニュアルの見直し）
- 通学路を含む安全管理の徹底

《指導の重点(基盤)》

信頼される学校づくり

連携・協働による
「信頼される学校づくり」

- 教職員の資質向上（教員育成指標の活用、年次別研修、服務規律に関する研修等）
- グランドデザイン及びアクションプランの作成とPDCAによる学校評価の充実
- 業務改善を通じた教育の質の維持・向上（学校における業務改善アクションプラン）
- 学校だより、ホームページ等による情報発信（特色ある教育活動紹介含む。）
- 地域学校協働活動の推進（目指す児童生徒像の共通理解）

管内市町教育委員会との共通実践事項

- 「魅力ある学校づくりのPDCA」を突破口に「自己肯定感の向上」
- 「こだわりの視点・熊毛メソッド」を突破口に「学力向上」
- 「小中連携」を突破口に「学業指導の徹底」「家庭学習習慣の確立」
- 「体育科・保健体育科授業」を突破口に「健康な生活習慣の確立」「体力向上」